

第 25 号

発行  
山形県立鶴岡中央高等学校  
黎明同窓会  
鶴岡市大宝寺字日本国410  
0235 (25) 5723

印刷  
(有) 杉葉堂印刷  
0235 (22) 5538



# 黎明

同窓会だより れいめい  
山形県立鶴岡中央高等学校



3年ぶりの天神祭



## 会長の挨拶

田中 俊彦

会員の皆様には、ご健勝にてお過ごしのことと存じます。今年も新型コロナウイルス感染症、特にオミクロン株への変異による感染の拡大に伴い、制約された窮屈な日々の生活が続いています。

この様な状況のもと、卒業式は限られた出席者で挙行されました。本年二月二十八日の入会式は、会長と幹事長の二名が出席し、二〇八名の方を新会員として向え入れられました。

昨年一昨年に引き続き同窓会の総会が中止となり、会報誌に記載した書面による提案を行い、決議の承認をいただきました。その中で、学校施設整備の一環として、特別棟へのWi-Fi設置工事を行い、山形県立高校では初めて校舎内の全てにおいてWi-Fi環境が整いました。

同窓会の目的には、会則第二条に「会員相互の親睦と研修に努め、鶴岡中央高等学校の発展に寄与する」とあります。在校生の活躍を喜び、卒業後は親睦を深め合い、未来永劫母校を応援することを目的として活動を行っています。

旧家政校・旧西校・中央校の卒業生は、地元をはじめ日本の各地の様々な分野で活躍しており、いつかどこかで同席する事があると思います。その際には会員の皆様からお互いの近況報告や思い出などを語り合って頂ければ幸いです。ワクチンの三回接種も80%以上となり、四回接種も進み集団免疫ができ、治療薬の開発もされ、コロナ前と同じ生活ができる日々が一日でも早く来ることを皆さんとともに期待したいと思います。

現状を鑑み、同窓会の各行事も開催することに制約がありますので、誠に残念ながら今年度も総会を中止といたします。結びに、鶴岡中央高校の益々のご発展と、会員皆様のご清祥とご多幸、更なるご活躍をご祈念申し上げます。



## 「黎明」に寄せて

校長 兼子 由香

同窓会員の皆さまにおかれましては、ご健勝のことと存じます。学校では、「新しい生活様式」「withコロナ」を念頭におき、生徒の学びの保障に努め、新たな視点で魅力的な学校へと進化させるチャンスと捉え、地元で活躍する同窓生の皆さまに続く、次代を担う人材を育成したいと考えています。

さて、今年度から新学習指導要領による教育課程が始まり、「探究型学習」や「協働」に力を入れ、主体的・対話的な授業に取り組んでいます。この学びを通して、思考力、判断力、表現力を身につけ、創造力豊かな新しい社会人となってほしいと願っています。前号でお知らせしましたように国や県の事業により、普通教室のICT環境が整備され、また、今年度より、一人一台の端末(タブレット)が県から貸与されています。さらには、同窓会より無線LANを設置していただいたことにより、本校では校内のどこでも端末を使用できるようにになりました。同窓会の皆さまに厚く御礼申し上げます。今後、この環境を活かし、生徒の学びの機会を広げていきたいと思

います。部活動では、このコロナ禍ですが、天魄太鼓部は県高等学校総合文化祭で最優秀賞となり、令和四年度全国高等学校総合文化祭東京大会に出場します。テクニカルビジネス部は、全国高校ワイプロ競技会に出場しました。また、東北大会に吹奏楽部、演劇部、陸上部、バドミントン部、アーチェリー部が活躍しています。鶴岡中央生が活躍する姿を多く発信できるように、同窓生や地域・保護者の皆様との連携・協力を大切にしながら教育活動を進めて参ります。同窓生の皆様には、ご支援の程よろしくお願ひ申し上げます。



## 遅しく しなやかに

岡部 あけみ 先生

平成元年と平成5年から閉校までの6年間勤務した家政高は、遅しく澆刺とした生徒の多い活気がある学校でした。

その象徴のように思い出すのは、学校祭の「和紙のファッションショー」です。全校生徒がそれぞれの持てる力を結集して創りあげていく行事でした。互いに意見を交わしては時にぶつかり、くじけては励まし支え合い、泣き笑いしながら懸命に取り組んでいた生徒の姿が思い出されます。ファッションショー当日のランウェイを歩くモデルの姿は、ドレスの素晴らしさに加え、仲間の想いも纏って輝きを増し、凛として美しいものでした。会場の皆が一体となり、熱気あふれる圧巻の光景でした。

人が集まり、知恵を出し合い、協力して懸命に何かを創り上げる時、計り知れないパワーが生まれます。高校生活の様々な場面でそのような経験をして、家政高生はひとり一人がさらに遅しく、しなやかに成長することを実感しました。

あの時の家政高生は、現在も様々な場所でそれぞれの役割を果たし、活躍していると思います。皆様の益々のご健勝とご活躍を心よりお祈りします。



## 鶴岡西高校の思い出

土岐 秀昭 先生

鶴岡西高校には、昭和58年から8年間お世話になりました。この間に、2回の担任をさせていただきましたが、二回目は卒業を見届ける前に転勤となり残念な思いをしました。

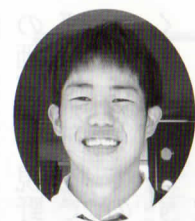
担任として印象に残っているのは、修学旅行のクラス別行動です。奈良の史跡をめぐるコースでしたが、大神神社、長谷寺、室生寺、明日香村の石舞台古墳などを回りました。昼食は、土門拳が定宿として愛した室生寺近くの橋本屋で、有名なとろろご飯をいただきました。思い出深い素敵な旅でした。

また、バドミントン部、陸上部の顧問をさせていただきました。バドミントンは全くの素人で、生徒にイロハから教えてもらいました。陸上部では、棒高跳、ハードル、走幅跳などで東北大会に引率しました。遊佐町吹浦の海浜宿舎とみ荘での春合宿も、懐かしく思い出されます。さらに、新聞委員会も活躍してくれ、県の新聞コンクールで優秀賞を受賞してくれました。

鶴西高を転出後、鶴工に10年、鶴南高に19年勤務し教員生活を終えました。今は、鶴高専の非常勤講師を努めながら神職として神明奉仕をしています。



# 学校PR



鶴岡中央高等学校  
生徒会長

志賀 幸輝

鶴岡中央高校は、普通科、総合科の二つに分かれています。普通科では多くの生徒が進学に向けて勉強に励んでいます。また、キャリア探究という授業を通し、大学・職業調べや、自分の進路に関係する課題に対して向き合う探究活動を行い、知識を深めています。総合科では、系列に分かれて専門的な学習をし、進路実現を目指しています。また、自分が興味を持ったことを様々な視点で突き詰め、総合学科発表会でその成果を発信しています。今年度の生徒会は、ペーパーレスやデジタル化に力を入れています。生徒だけでなく、中央高校自体を変わりゆく社会に対応し、成長していけるよう、頑張っています。



企業交流・鶴岡中央高校



鶴岡中央高キャリア教育

荘内日報掲載



斎小シルクガールズ2

## 関東支部だより



関東支部長  
齋藤 仁幸

会員の皆様、コロナ禍の中、お変わりなく元気でお過ごしのことと思います。

ほとんどの方は、三回目のワクチン接種を終えられていと思います。が、感染力が強いオミクロン株は沈静してきているのでしょうか。今年のゴールデンウィーク中の移動は制限がなく、飲食店の営業時間も延長されています。

四月九日「同窓生のつどい」実行委員会を開き、今年の同窓会について話し合われました。慎重な意見が出される中で「参加者がどれくらいいるのか」という想いと、何年も中止すると会そのものの存在感が無くなってしまうのでは。」の意見がありました。

結論は「こじんまりとでも開催した方がいいのではないか。」ということになりました。今後の状況で、開催決定は、六

月十一日の幹事会でされませんが、決定となれば「九月十八日 アートホテル日暮里ラングウッド」で開催します。二年間同窓会が中止になり、これまで普通にできたことができない不自由さを経験し、自由に行動できることが如何に幸せな事であるか、染み染み感じさせられた二年間でした。今年こそは会員の皆様とお会いしたいものです。早いコロナ収束を祈るのみです。



前回の様子です

# 卒業生の思い出

## 新生活を迎えて



令和4年  
中央高卒

穂上まどか

私は鶴岡中央高校を卒業し、東洋大学に通っています。東京での大学生活が始まって約一ヶ月経ちました。大学では新しい友人もでき、放課後に残って授業の課題をするなど充実した大学生活を送っています。同じ学年には様々な県や年齢、国籍の人がおり、自分の価値観や視野をさらに広げられる環境で学習できることに對しての有難みを強く感じています。また、大学生になり一人暮らしをしています。家事を全て自分で行うこと、買い物に行き日々の食事を決めること、

毎日お弁当を作って学校に行くことなど、自分の生活と勉強を両立させることの大変さを身をもって感じています。

そして、私が東京で楽しみにしていることのひとつは高校時代の友人と会うことです。共に上京してきた友人達と会い、何気ない会話をすることは高校の頃以上に貴重な時間であり、同時に変わらず接してくれる友人達に感謝の気持ちでいっぱいです。

大学での四年間をより有意義に過ごせるよう、勉学に邁進したいです。



## 未来に向かって



令和4年  
中央高卒

松井 隆佑

私は、鶴岡中央高校を卒業し、この春から新社会人として、スタンレー電気株式会社にお世話になっていきます。初めは知り合いもおらず、分からないことばかりで、不安でいっぱいでした。

何より不安だったのは、仕事内容です。現在の仕事は、パソコンを使った業務です。私の場合、高校在学中には、パソコンには一年生の頃多少授業で触れた程度で、うまく操作できなかったからです。また、上司や先輩方も歳が一回り以上も離れていて、本当に

## 楽しかった高校時代



平成24年  
中央高卒

角田 太郎

私の高校時代の思い出は楽しかったの一言に集約されています。正直な所、具体的に何がどう面白かったとかでは無く、漠然と楽しかったとしか言えないです

が、今思い返せば高校生という立場自体が恵まれていた環境だったと言う事に現在気付かされています。恐らくは一番価値観に近い仲間達が身近にいる時期であり、一番友人が作りやすい時期とも断言出来ると思います。

今現在は社会人である私も、未だに高校時代の友人とはよく遊ぶ仲であり、現在の生活は、学生時代を経て今に繋がっていると今更に思っています。もちろんその後の大学時代や社会人になってからも大切ではございますが、高校生である皆様には、今を大切に生きて欲しいと切実に思う次第でございます。

今現在楽しく無いと言う方につきましては、様々な事にチャレンジして欲しいと私個人は思っております。皆様が思っている以上に人生は短いですが、私も趣味の釣りをマスターするのには300年はかかりそうですのでお互いに良きチャレンジスピリッツを！



# 令和3年度 会費納入者芳名簿

<p><b>旧如蘭支部</b></p> <p>女農昭和22年卒 能登豊子 四高昭和25年卒 五十嵐晴美 田巻和子 家政26年卒 小野寺才 家政27年卒 吉田悦子 家政28年卒 小林文子 家政31年卒 渡部満 池田邦子 家政33年卒 小野田文子 菅沢稔子 家政35年卒 斎藤宣子 草野恵子 井上節子 成沢礼子 黒崎幹子 工藤宣子 家政36年卒 佐藤嘉久子 尾崎光子 富樫春美 家政37年卒 佐藤美和 家政39年卒 後藤美穂子 大塚和子 小幡朋子 上原玲子 家政40年卒 薩美敏子 曾根喜美子 家政43年卒 三浦恵子 佐々木陽子 中川涼子 柴田和恵</p>	<p>家政44年卒 立石たけ子 家政45年卒 伊藤優子 家政46年卒 富樫洋子 孫田孝子 家政47年卒 荒川誠子 太田久美子 三村妙子 家政48年卒 倉沢恵子 家政53年卒 佐藤育 家政54年卒 川越由美 家政56年卒 渡部多喜子 小山田真生 家政59年卒 佐藤真由美 丸山千賀子 小玉節子 伊藤和枝 家政平成4年卒 原田裕美 家政平成8年卒 齋藤優子 家政平成9年卒 上林泉</p>	<p><b>旧西高</b></p> <p>西昭和27年卒 小林民男 渡部幸治 西28年卒 佐藤憲二 小松金悦郎 西29年卒 佐藤勝士 櫻井寛子 佐藤純子</p>	<p>西31年卒 佐藤文夫 瀧澤力 西33年卒 阿部成子 西34年卒 斎藤忠男 野村一夫 允 西37年卒 菅原賢一 西38年卒 白幡政喜 佐藤洲人 池原清二 佐藤丈六 西39年卒 遠見昌圀 小野寺晶夫 元也 齋藤勝元 石川良一 伊藤芳一 西40年卒 中世古精一 西41年卒 佐藤まさ子 富樫貞夫 五十嵐一利 西42年卒 松浦繁子 佐藤美愛 高田政明 田澤あき子 里義信 石塚たき子 齋藤秀雄 遠藤晴知子 佐藤繁吉 齋藤三五 西43年卒 半澤正昭 太田武均 我孫子美知子 松下日出子</p>	<p>佐藤富夫 村瀬友美子 高嶋恵 西44年卒 澁谷政子 富樫秀雄 山中秀一 西45年卒 宮崎喜久美 鈴木明彦 木野一郎 菅原眞一 斎藤文彦 西46年卒 齋藤仁幸 渡部耕二 齋藤泰清 山口清二 成沢光雄 成田幸志 菅井政一 五十嵐俊 佐藤薫 西47年卒 岩城公志 金野悦郎 西48年卒 坂善彦 丸市明子 若松祐美 小林清美 西49年卒 田中俊彦 東海林良哉 丸山隆逸 叶野重典 佐藤三枝 青木政樹 青木美智男 伊藤正男 西50年卒 清和ふみ子 佃源治 阿部芳則</p>	<p>蛸井勝正 須藤立 橋本るみ子 佐藤光義 土井朋子 島田寅吉 西51年卒 原敏一 五十嵐総一 西52年卒 桜井茂 西53年卒 日野まゆみ 西54年卒 東海林宏子 丸山浩純 南波純 西55年卒 佐藤幸美 井上克浩 西56年卒 深町智順 平藤泰 西58年卒 林涉聡 佐藤聡 西59年卒 鈴木聡 西60年卒 榎本陽一 今野智史 西61年卒 佐藤徹志 奥泉公浩 黒崎浩矢 西62年卒 佐竹俊一 西平成元年卒 吉住年正 門脇里香 西平成5年卒 今井浩一 西平成9年卒 小泉亜紀 佐藤伊子</p>	<p><b>中央高校</b></p> <p>中央平成11年卒 高橋勇一 五十嵐玲子 安野亮平 中央平成14年卒 大井直人 工藤友暁 後藤智幸 佐藤拓磨 中央平成15年卒 藤本大樹 石黒誉久 中央平成17年卒 山本寛之 中央平成18年卒 佐藤将 中央平成21年卒 田中翔太郎 佐藤叶望 工藤康 中央平成22年卒 菅原太成 中央平成23年卒 本多亜未 中央平成30年卒 本多美未 橋本将矢 梅木海咲 中央令和3年卒 町野大悟 佐々木夢叶 佐藤ことほ 松村優花 佐藤篤弥 瀬尾哲平 富樫瑠衣</p>	<p><b>令和4年3月卒業 208名 全員納入</b></p>
--	--	--	--	--	--	--	--

## 恩師のはげまし



平成24年中央高卒  
佐藤 俊

私が鶴岡中央高校を卒業して早十年が経過し、歳月の過ぎる早さに驚いており

現在は、鶴岡にて高校在学当時より目指していた職種に就くことができ、日々忙しい生活を送っています。職場にも中央高校の卒業生が在籍しており時折、高校時代の思い出話をしながら当時を懐かしんでおりました。

当時の事を思い出すと たった三年間ながら、今の私を形成する最も重要な期間であったと思います。入学当初、あまり学校生活に對し真剣に考えておらず学業等への取り組みも甘かった様に思います。その様な状態を見抜いていた当時の恩師より厳しい言葉を掛け

られる事が多くありました。高校生ということもあり、恩師の言葉をあまり真剣に考えていなかった私でしたが、進路の事を考える時期になるとその言葉の意味を重く感じる様になりました。そこから、自分がなりたい職種だけでなくどのような社会人になりたいのかまで考える様になりました。

## 同窓生



昭和61年鶴岡西高卒  
佐々木 徹

高校を卒業し鶴岡市役所に臨時職員で働いて、翌年から郵便局に採用され今に至ります。

至ります。若い時は知り合った方が西高卒と聞くと親近感で頼っていました。実はこの投稿も市役所で大変お世話になった方より依頼され、断る選択はなかったのです(笑) 現在も郵便局員として働いています。高の卒業生もいますが、世代に関係なく「どの高校出身」は大切なポイントになりますね。若い時は西高の先輩に多く頼った分、今は後輩を大切に育てていきたいと感じています。剣道部に所属していましたが、顧問の先生が日体大剣道学科を卒業したばかりの先生で、きつい稽古の日々でした。この経験が壁にぶつかっても「何とかかな」と思える精神力を築いていたのだと感じます。また、在学は一緒ではありませんが、TUYの鈴木竜弘アナウンサーが剣道部の先輩だと聞いて励みになりました。人はひとりでは生きられません。繰り返すにありますが、同窓生の繋がりが

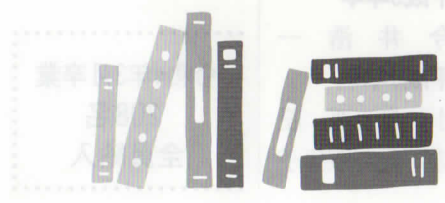
## 「ガンジー」



平成6年家政高卒  
菅原 麻希

本日は北高に行きたかった。制服も可愛いし清楚系頭いい女子高。でも、受かるか落ちるか分からないと担任に言われ。親には私立はダメよと言われていたのに、遠い西高には通えないし、もう選択肢は家政高一択。家政高なんてヤンキーの花嫁修行の高校でしょと聞いていた私。ちょうどその年から普通科が出来るというので渋々受けることになった。

問題のガンジーの写真にイタズラ書きを書いたまま提出。そして、合格。晴れて入学したその日に担任から付けられたあだ名は「ガンジー」だった。家政高は入ってみれば全然ヤンキーもいなくて、正直思っていたよりも全然楽しい所だった。私と同じようなぐるぐる女子がいっぱいいて私にぴったりな場所。夏は上は制服、下は短パン。靴下を脱いで木造のボロい校舎に座って涼んだ。テスト期間には勉強もしないのに、モチたくて友達と図書館にいったり。本当にくだらない毎日。最高に楽しいガンジーな毎日だった。





# 令和3年度 活動報告

- 1 鶴岡中央高校への関心の高まりを力に、会員相互の親睦と更なる母校の発展に寄与しました。
- 2 同窓会運営の現状を鑑み、運営の在り方を模索しました。
- 3 引き続き中央高校卒業生の同窓会運営への参画を促し、組織と活動の活性化を目指しましたが、新型コロナウイルスの影響を受け、会員の安全と健康を考え、総会は中止となりました。

## 令和3年度 一般会計決算書

自 令和3年6月1日  
至 令和4年5月31日

【収入の部】 (単位 円)

項目	予算額	決算額	増減(△)	備考
1 入会金	1,060,000	1,040,000	△ 20,000	令和4年3月卒208名×5千円
2 年会費	664,000	788,000	124,000	令和4年3月卒208名×2千円=416千円 一般会員186名×2千円=372千円
3 寄附金	100,000	232,000	132,000	
4 繰越金	1,289,834	1,289,834	0	前年度繰越金
5 雑収入	166	4,508	4,342	預金利息8円、同窓会名簿代金
合計	3,114,000	3,354,342	240,342	

【支出の部】 (単位 円)

項目	予算額	決算額	増減(△)	備考
1 運営費	760,000	454,942	△ 305,058	
(1)事務費	50,000	24,178	△ 25,822	事務用品、プリンタートナー
(2)事務委託費	390,000	350,660	△ 39,340	団費職員賃金
(3)備品費	5,000	0	△ 5,000	
(4)通信費	50,000	21,127	△ 28,873	会議案内用ハガキ、切手代
(5)会議費	60,000	2,924	△ 57,076	各種役員会等
(6)旅費	135,000	0	△ 135,000	
(7)雑費	70,000	56,053	△ 13,947	卒業式生花 16,500円 ゆうちょ銀行払込料金等 39,553円
2 事業費	1,690,000	950,508	△ 739,492	
(1)総会費	530,000	73,612	△ 456,388	総会中止の新聞広告費
(2)会報発行費	900,000	681,496	△ 218,504	会報印刷費 264,000円 編集諸費 1,327円 会報発送・封入・封緘 416,169円
(3)卒業記念品費	120,000	95,400	△ 24,600	証書ホルダー
(4)後援会賛助金	100,000	100,000	0	
(5)同窓会開帳祝金	30,000	0	△ 30,000	
(6)慶弔費	10,000	0	△ 10,000	
3 基金積立金	600,000	600,000	0	
(1)基金積立金	300,000	300,000	0	
(2)財政調整基金	300,000	300,000	0	
4 雑費	25,000	44,550	19,550	荘内日報新聞広告料(3校紹介、中央特集の2回分)
5 予備費	39,000	0	△ 39,000	
合計	3,114,000	2,050,000	△ 1,064,000	

収入決算額 3,354,342円 - 支出決算額 2,050,000円 = 剰余金 1,304,342円 を次年度へ繰越

## 令和3年度 各特別会計決算書

自 令和3年6月1日  
至 令和4年5月31日

1 基金積立金特別会計 (単位 円)

収入項目	予算額	決算額	増減(△)	備考
1 繰越金	1,186,527	1,186,527	0	積立金残金
2 積立金	300,000	300,000	0	
3 雑収入	473	10	△ 463	預金利息
合計	1,487,000	1,486,537	△ 463	

【支出の部】 (単位 円)

支出項目	予算額	決算額	増減(△)	備考
合計	0	0	0	

収入決算額 1,486,537円 - 支出決算額 0円 = 差引残金 1,486,537円 次年度へ繰越

記録 ※平成20年度 10周年記念事業協賛金 100万円の内 786,000円支出  
※平成27年度 創立20周年記念事業準備事務費 145,800円支出  
※平成30年度 創立20周年記念事業負担金 1,500,000円支出

2 環境緑化・施設整備協力金特別会計 (単位 円)

収入項目	予算額	決算額	増減(△)	備考
1 繰越金	2,875,112	2,875,112	0	協力金残金
2 協力金	212,000	208,000	△ 4,000	令和4年3月卒208名×1,000円
3 寄附金	0	0	0	
4 雑収入	888	24	△ 864	預金利息
合計	3,088,000	3,083,136	△ 4,864	

【支出の部】 (単位 円)

支出項目	予算額	決算額	増減(△)	備考
1 運搬費	0	0	0	
2 備品購入費	1,579,380	1,580,260	880	特別棟整備(Wi-Fi設置)
合計	1,579,380	1,580,260	880	

収入決算額 3,083,136円 - 支出決算額 1,580,260円 = 差引残金 1,502,876円次年度へ繰越  
※協力金は平成18年3月卒業生より一人千円加入していただいております。

記録 ※平成20年度 サッカーランド整備 100万円支出  
※平成22年度 学校へ絵画贈呈時の運搬費等 124,884円支出  
※令和元年度 天囃太鼓部 全国総合文化祭参加の太鼓運搬費 329,691円支出  
※令和2年度 電子黒板購入 473,550円支出  
※令和3年度 特別棟Wi-Fi設置 1,580,260円支出

3 財政調整基金積立金特別会計 (単位 円)

収入項目	予算額	決算額	増減(△)	備考
1 繰越金	2,800,035	2,800,035	0	積立金残金
2 積立金	300,000	300,000	0	
3 雑収入	965	24	△ 941	預金利息
合計	3,101,000	3,100,059	△ 941	

【支出の部】 (単位 円)

支出項目	予算額	決算額	増減(△)	備考
合計	0	0	0	

収入決算額 3,100,059円 - 支出決算額 0円 = 差引残金 3,100,059円 次年度へ繰越

# 令和3年度 寄付者芳名簿

### 旧如蘭支部

富樫 洋子	3,000円
佐藤真由美	3,000円
黒崎 幹子	2,000円
田巻 和子	1,000円
小林 文子	2,000円
渡部 満	10,000円
斎藤 宣子	1,000円
井上 節子	1,000円
成沢 礼子	1,000円
富樫 春美	1,000円
後藤美穂子	2,000円
小幡 朋子	5,000円
伊藤 優子	10,000円
太田 久美	2,000円
三村 妙子	1,000円
佐藤 育	2,000円
渡部多喜子	1,000円
小山田真生	1,000円

### 旧西高

田中 俊彦	6,000円
吉住 年正	2,000円
東海林良哉	10,000円
丸山 隆逸	3,000円
半澤 正昭	8,000円
遠見 昌圀	3,000円
高嶋 恵	2,000円
齋藤 仁幸	3,000円
佐藤 憲二	1,000円
小松金悦郎	1,000円
佐藤 純子	2,000円
瀧澤 力	1,000円
佐藤 文夫	1,000円
荻野 允	3,000円
野村 一夫	3,000円
菅原 賢一	10,000円
佐藤 洲人	10,000円

伊藤 和枝	5,000円
佐藤 丈六	3,000円
小野寺晶夫	1,000円
齋藤 勝元	10,000円
五十嵐一利	3,000円
遠藤晴知子	1,000円
太田 武	3,000円
我孫子 均	3,000円
成田日出子	1,000円
佐藤 富夫	1,000円
富樫 秀雄	1,000円
山中 秀一	1,000円
鈴木 明彦	8,000円
齋藤 泰宏	3,000円
成沢 実	1,000円
五十嵐俊一	10,000円
岩城 公志	3,000円
丸市 明子	3,000円
若松 祐	1,000円
小林 清美	2,000円
青木 政樹	3,000円

佃 源治	10,000円
佐藤 光義	5,000円
桜井 茂	3,000円
丸山 浩子	1,000円
井上 克浩	3,000円
平藤 泰順	3,000円
深町 智	2,000円

### 中央高校

佐藤 将	3,000円
高橋 勇一	1,000円
工藤 友暁	3,000円
後藤 智幸	3,000円
藤本 大樹	1,000円

### 旧職員

松田 大樹	3,000円
佐藤 博幸	2,000円
岡田 照子	2,000円
日向 香菜	2,000円

## — ありがとうございます —

姓・住所など変更のあった時は是非下記までお知らせ下さい。

〒997-0017 山形県鶴岡市大宝寺字日本国 410 鶴岡中央高等学校黎明同窓会事務局 宛  
TEL 0235-25-5723 FAX 0235-25-5733

★卒年、組、会員番号、氏名を忘れずに記載して下さい。

議案第3号

## 役員改選について

山形県立鶴岡中央高等学校黎明同窓会会則第6条第1項の規定により、次の方々を会長、副会長及び監事として選出していただきたく、提案します。

## 役員名簿 (令和4年度)

役職名	氏名	備考(卒業年)
顧問(学校)	兼子 由香	中央高校長
顧問	遠見 昌圀	2代会長39
顧問	坂 善彦	3代会長48
顧問	富樫 洋子	4代会長46
顧問	半澤 正昭	元幹事長43

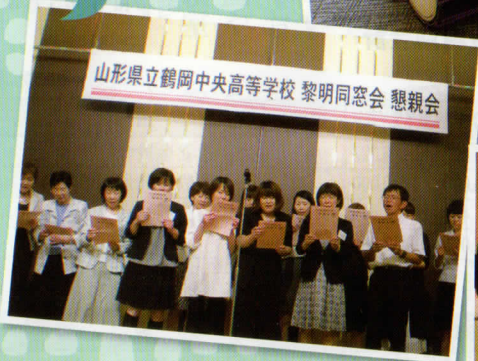
役職名	氏名	備考(卒業年)
会長	田中 俊彦	西S49
副会長	佐藤真由美	家S59
副会長	吉住 年正	西H1
副会長	佐藤 将	中H18
幹事長	東海林良哉	西S49
副幹事長	東海林 宏	西S54
幹事	長南 雄太	中H24
幹事	常田 拓哉	中H24
幹事(学校)	齋藤 和浩	中央高教頭
幹事(学校)	後藤 俊之	中央高教頭
幹事(学校)	渡会 聡	中央高総務広報課
幹事(学校)	笹原由香里	中央高総務広報課
幹事(学校)	佐藤 瑞穂	中央高総務広報課

役職名	氏名	備考(卒業年)
常任理事(会報編集委員)	松浦 繁子	西S42
常任理事(会報編集委員)	高嶋 恵	西S43
常任理事(会報編集委員)	菅原とり子	家S50
常任理事(会報編集委員)	佐竹 俊一	西S62
常任理事(会報編集委員)	常田 拓哉	中H24
常任理事(総会委員)	佐藤真由美	家S59
常任理事(総会委員)	東海林 宏	西S54
常任理事(総会委員)	榊本 陽一	西S60
常任理事(総会委員)	松田 美栄	西S60
常任理事(総会委員)	鈴木 友香	家H6
常任理事(総会委員)	長谷川 亮	西S47
常任理事(総会委員)	本間 美加	西S57
常任理事(総会委員)	菅原 大	中H12
常任理事(総会委員)	佐藤 貴士	中H14
常任理事(総会委員)	保科 美幸	西S56
常任理事(総会委員)	原田 裕美	家H4
常任理事(総会委員)	長南 雄太	中H24
関東支部長	齋藤 仁幸	西S46
監事	安在 与八	西S48
監事	佐藤 和宏	西S55



三年連続、総会が、中止になりました。少しづつ終息に向かっている感はありますが、いつか、どこかで大きな波が来るような気がします。再会を願って用心深く行動しましょう。

再度、みなさんに  
会いたく  
会いたく  
会いたく



編集後記

新型コロナウイルスの世界的流行から、既に三年の月日が経つのに依然、収束（終息）の兆しを見込めないのもどかしい。更に全国的な原油高騰が、国際的紛争による情勢の変化で電気他、あらゆる物の価格上昇に拍車を掛け生産農家は元より、各家庭・飲食業・学校・施設等迄も深刻な問題に直面しています。

打開策の一つとして、食品（フード）ロスへの取り組み等、ホットな話題になっていきますが、温かい支援の輪となり裾野に広がっていき有効活用且つ、格差減少の相乗効果及び虐待防止等に繋がる事を大いに期待します。

「今、今と今という間に今を過ぎゆく」と言うならば「今という間にウイリスや争い事等が過ぎ去り」平和が戻る事を願います。

同窓会だより「黎明」に御寄稿いただき、有り難うございました。  
佐竹・記

令和4年度 活動方針

- 1 鶴岡中央高校への関心の高まりを力に、会員相互の親睦と更なる母校の発展に寄与します。
- 2 同窓会運営の現状を鑑み、運営の在り方を模索します。
- 3 引き続き中央高校卒業生の同窓会運営への参画を促し、組織と活動の活性化を目指します。

令和4年度 一般会計予算書

自 令和4年6月1日  
至 令和5年5月31日

項目	本年度予算額	前年度予算額	増減(△)	備考
1 入会金	1,190,000	1,060,000	130,000	令和5年3月卒238名×5千円
2 年会費	716,000	664,000	52,000	令和5年3月卒238名×2千円=476千円 一般会員120名×2千円=240千円
3 寄附金	100,000	100,000	0	
4 繰越金	1,304,342	1,289,834	14,508	前年度繰越金
5 雑収入	658	166	492	預金利息
合計	3,311,000	3,114,000	197,000	

【支出の部】 (単位 円)

項目	本年度予算額	前年度予算額	増減(△)	備考
1 運営費	795,000	760,000	35,000	
(1)事務費	50,000	50,000	0	プリンタートナー2回分 4万円、事務用品
(2)事務委託費	390,000	390,000	0	団費職員賃金
(3)備品費	5,000	5,000	0	
(4)通信費	50,000	50,000	0	会議案内用ハガキ・切手代
(5)会議費	60,000	60,000	0	各種役員会等
(6)旅費	160,000	135,000	25,000	関東支部出席 学校2名 同窓会3名
(7)雑費	80,000	70,000	10,000	入会式生花 2万円 ゆうちょ銀行払込料金等 6万円
2 事業費	1,951,000	1,690,000	261,000	
(1)総会費	736,000	530,000	206,000	総会用ラベル等 3.6万円 総会費 30万円 総会案内ハガキ印刷代 33万円 広告費 7万円
(2)会報発行費	955,000	900,000	55,000	会報印刷費 35万円 編集諸費 5千円 会報発送・封入・封緘 60万円
(3)卒業記念品費	120,000	120,000	0	
(4)後援会賛助金	100,000	100,000	0	
(5)同期会開催費	30,000	30,000	0	
(6)慶弔費	10,000	10,000	0	
3 基金積立金	400,000	600,000	△ 200,000	
(1)基金積立金	300,000	300,000	0	
(2)財政調整基金	100,000	300,000	△ 200,000	
4 雑費	25,000	25,000	0	
5 予備費	140,000	39,000	101,000	
合計	3,311,000	3,114,000	197,000	

令和4年度 各特別会計予算書

自 令和4年6月1日  
至 令和5年5月31日

1 基金積立金特別会計

項目	本年度予算額	前年度予算額	増減(△)	備考
1 繰越金	1,486,537	1,186,527	300,010	積立金残金
2 積立金	300,000	300,000	0	一般会計からの繰入
3 雑収入	463	473	△ 10	預金利息
合計	1,787,000	1,487,000	300,000	

【支出の部】 (単位 円)

項目	本年度予算額	前年度予算額	増減(△)	備考
0	0	0	0	
合計	0	0	0	

記録 ※平成20年度 10周年記念事業負担金 100万円の内 786,000円支出  
※平成27年度 創立20周年記念事業準備事務費 145,800円支出  
※平成30年度 創立20周年記念事業負担金 1,500,000円支出

2 環境緑化・施設整備協力金特別会計

項目	本年度予算額	前年度予算額	増減(△)	備考
1 繰越金	1,502,876	2,875,112	△ 1,372,236	協力金残金
2 協力金	238,000	212,000	26,000	令和5年3月卒業生238名× 1,000円
3 寄附金	0	0	0	
4 雑収入	124	888	△ 764	預金利息
合計	1,741,000	3,088,000	△ 1,347,000	

【支出の部】 (単位 円)

項目	本年度予算額	前年度予算額	増減(△)	備考
1 運搬費	0	0	0	
2 備品購入費	244,000	1,579,380	△ 1,335,380	テント購入
合計	244,000	1,579,380	△ 1,335,380	

※協力金は平成18年3月卒業生より一人千円加入していただいております。

記録 ※平成20年度 キャカグランド整備 100万円支出  
※平成22年度 学校へ絵画贈呈時の運搬費等 124,884円支出  
※令和元年度 天魂太鼓部 全国総合文化祭参加の太鼓運搬費  
329,691円支出  
※令和2年度 電子黒板購入 473,550円支出  
※令和3年度 特別棟Wi-Fi設置 1,580,260円支出

3 財政調整基金積立金特別会計

項目	本年度予算額	前年度予算額	増減(△)	備考
1 繰越金	3,100,059	2,800,035	300,024	積立金残金
2 積立金	100,000	300,000	△ 200,000	
3 雑収入	941	965	△ 24	預金利息
合計	3,201,000	3,101,000	100,000	

【支出の部】 (単位 円)

項目	本年度予算額	前年度予算額	増減(△)	備考
0	0	0	0	
合計	0	0	0	

総会資料(議案第1号・第2号・第3号)について、第1回常任理事会・理事会・当番幹事合同会議(6月16日開催)で承認されました。ご不明な点がございましたら、令和4年8月19日まで黎明同窓会事務局にお問い合わせください。ご連絡がなければ承認されたことといたします。